

劇団四季

夢と勇気で、日本の扉を
世界に開いた若者がいた。



劇団四季ファミリーミュージカル 初演オリジナル台本 構成・演出 浅利慶太 作詞 三木たかし 脚本 加藤豊彦

ジョン万次郎の夢

8月15日(火) 13:30 開演 (会場:キャナルシティ劇場)

チケット料金(定価) S席大人:6,000円 / S席小学生以下:4,000円

※公演当日3歳以上有料(路上観劇不可)/3歳未満の着席観賞は有料

ジョン万次郎が教えてくれる 夢をあきらめない勇氣と信じる心



撮影：阿部章仁

～あらすじ～

土佐(現在の高知県)の漁村で育った14歳の万次郎は、初めての量で嵐に巻き込まれ遭難してしまいます。何とか無人島にたどり着いたところを助けてくれたのは、偶然通りかかったアメリカの捕鯨船でした。言葉はわからなくても、握った手は温かい。万次郎はもっと外国のことが知りたくなり、船長と一緒にアメリカに渡ることにしました。アメリカに暮らして8年が過ぎ、万次郎は「いつまでも鎖国を続ける日本を開かなければ」と考え始めます。鎖国の日本に戻るのは命がけです。しかし万次郎は信じていました。「諦めなければ、夢は必ずかなう」。果たして万次郎は閉ざされた日本の扉を開くことができるのでしょうか…

～ここが見どころ!～

◆ 故・三木たかし氏の名曲の数々

音楽を手がけたのは、「津軽海峡冬景色」、「時の流れに身をまかせ」などヒット曲を生み出した故・三木たかし氏。四季においても『夢から醒めた夢』、『ミュージカル李香蘭』をはじめとする「昭和の歴史三部作」など数々のミュージカル作品でその才能を発揮しました。本作は、ダイナミックな音楽が作品にさらなる厚みを与えています。

◆ 和の創造力に溢れた演出

舞台装置にも創意工夫を凝らしています。例えば、万次郎の乗る漁船が難破してしまう場面は、歌舞伎の伝統的手法である“浪布”と“浪衣”(浪布の下に入り、全身を使い波のうねりを表現する黒子)で表現。“和”のアプローチで、荒々しい海原の様子を創り上げています。

◆ 徹底的な時代考証

時代設定が江戸末期である本作では、数多くの文献を紐解き、漁師の生活や風俗、この時代特有のデザインや、髪型、着こなしなど、あらゆる要素を研究しています。また、島津斉彬や勝海舟、福沢諭吉など多くの歴史の偉人が登場するのも見どころです。

～ご注意事項～

- ・上演時間約2時間5分(途中休憩含む)。座席の指定はできません。
- ・公演当日3歳以上有料(膝上観劇不可)。3歳未満の着席鑑賞は有料。
- ・小学生以下のチケットで大人の方が入場される際は、当日劇場にて大人料金との差額を頂戴します。大人料金のチケットでお子様が入場されても、差額の返金はできません。

作品紹介はこちら▼

